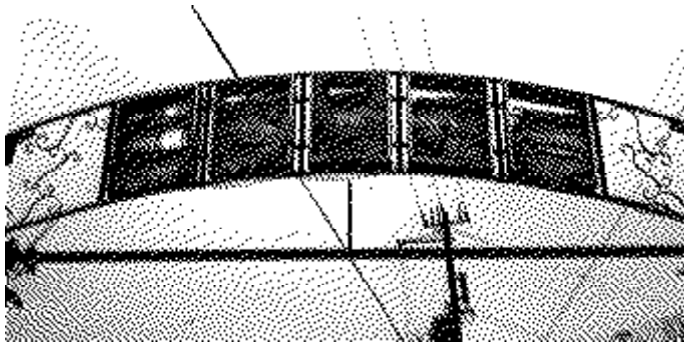




☆鷹取商店街入り口



この写真は、このあいだの「学級通信」に載っていたものと同じものです。ただし、前回の写真は地震の翌日のもので、この写真はこの3月の終わりにうつしたものです。あたりの風景は変わっていますが、この看板は、地震のすごさを私たちに伝えてくれています。また、あたりには、焼けこげたり電柱、傾いた電柱や、垂れ下がった電線などもあります。まだまだ復旧が完全にすんでいるわけではないという現実がよくわかります。

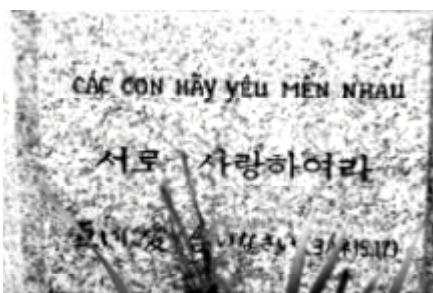
☆鷹取教会奇跡のキリスト像

すぐとなりにある礼拝堂が全焼したにもかかわらず、このキリスト像は、奇跡的にも焼けずに残りました。



下の写真は、このキリスト像の台座にあたる部分です。一番上に「ベトナム語」で、その次に「ハングル」でそして一番下に

「日本語」で聖書の一節が書いてあります。



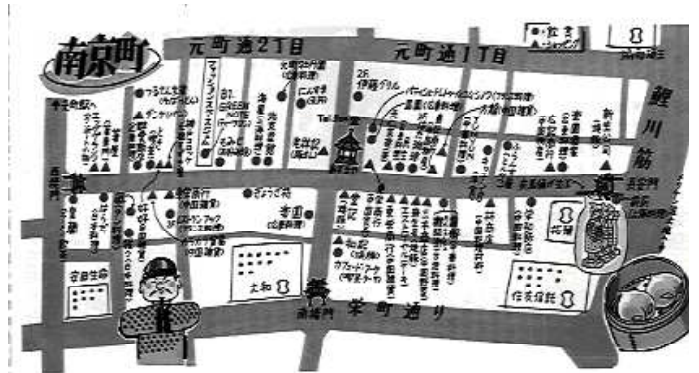
☆鷹取教会ペーパードーム



この前の「学級通信」にも書いたように、鷹取教会の礼拝堂は完全に燃えてしまいました。そのあとに建てられたのが、「ペーパードーム（紙の支柱でできた建物）」です。教会の敷地内にも、いくつか同じように、紙でできた家が建っています。

なお、真ん中に座ってこちらを向いておられるのが、ここで働いておられる金宣吉（キムソングル）さんです。

○南京町マップ



元町駅からすぐのところに、中華街の「南京町」があります（入り口までは一緒に行きます）。「西楼門」から「長安門」までずらりとお店や屋台が並んでいます。特に屋台で食べるスープやラーメンは、ちょっと薄味でうまい！ちょうど真ん中あたりにあるのが肉まんて有名な「老祥記」です。また、長安門のあたりに、地震で倒れた「兵馬俑」があります（あったかどうか覚えていない）。